

令和5年度定時評議員会議事録

開催日時：令和5年5月27日（土） 14：30-16：10

開催場所：大泉勤労福祉会館 大会議室

【開会の辞】

定刻に司会者小倉扶美子理事より令和5年度定時評議員会の開催が宣言された。

（参加者全員でテープ音源に合わせて校歌を唱和）

【定足数の確認】

令和5年度の評議員総数は開催案内送付時383名で宛先不明者4名が判明したが、今回の評議員会に対する評議員総数は383名とした。開始時点での出席者49名、議長及び出席評議員への委任状143名（オンライン参加者3名を含む）で合計が192名となり、いずみ会規約13条に基づく定足数128を満たしている旨、藤倉理事より報告され、本評議員会が適正に且つ正式に成立したことが確認された。（最終出席者は61名）

【荒井会長挨拶】

「皆さんこんにちは。コロナ禍でいずみ会活動はここ数年間思うような活動できませんでした。しかし、これからは従来の活動ができるようになり、10月には総会・ホームカミングデーが開催できると思います。いずみ会の将来を考えるといろいろな取り組みを行っていく必要があると思います。評議員の皆さんの厳正なご審議をお願いします。」

【来賓紹介】

司会より学校及びPTA役員のメンバーが紹介され、当日は浜田浩和高等学校副校長、小川和寛附属中学校副校長が出席され、浜田副校長からは下記の挨拶を、小川副校長からは新しく着任された挨拶をいただきました。

【浜田副校長ご挨拶】

「昨年に引き続き会にお招きいただきありがとうございます。日頃よりいずみ会の皆様には本校の教育活動に関して、ご理解・ご支援を賜り感謝申し上げます。今年で中学校が創立14年目、高等学校が創立83年目を迎えました。昨年10月3日に創立80周年の記念式典を予定していましたが、「祝う会」として校内で荒井会長をお招きして生徒だけで行いました。高校での生徒募集が中止となってから2年目を迎え、現在は高校3年生が5クラス、1、2年生が3クラスとなり、中学校は学年4クラスとなりました。全体のクラス数が少なくなった関係で教員の人数も減っています。本年度から学内の感染防止対策も大幅に緩和され、4月下旬には高校1年生が探求合宿として福島に行くことが出来ました。5月17日には体育祭が行われましたが、生徒はまだマスク生活から解放された訳ではありません。今年の夏には国際理解教育として海外研修を予定しており、中学Ⅲ年がニュージーランド、高校1年生がオーストラリアに行きます。9月には文化祭が一般公開となり、いずみ会も参加してもらえ

るようになりました。10月下旬には総会・ホームカミングデーも学内で開催できるように調整しています。」

【議長選出】

議長に國谷俊之評議員（高校14期）を選出し、以下の議事は議長に委ねられた。

議事録署名人選出：議事録署名人として戸田敏治評議員（高校46期）、太田榮評議員（高校75期）を選出した。

【第1号議案―令和4年度事業報告及び収支決算の承認の件】

山川事務局長より令和4年度事業報告がスライドを使って説明された。

- * 令和3年度定時評議員会（令和4年5月28日に練馬区民・産業プラザで開催）
- * 理事会、監査会等の活動（昨年に引き続きウェブ配信を並行して会議を開催）
- * 活性化に向けての取り組み
 - 令和5年1月10日に「73期の20歳の集い」の開催を支援
 - 令和5年3月12日に成人式が開催できなかった71期同窓会の開催を支援
- * 会報の発行、広報活動の充実（会報66号発行、ホームページの内容充実）
- * 総会及びホームカミングデー（令和4年10月29日総会のみ開催）
- * 財政管理（収入：62.1万円減収、支出：126.7万円増額、収支：73.6万円赤字）
- * 会員情報の整備（75期の名簿作成及び配布）
- * 母校・PTAとの連携（具体的活動は実施できず）
- * 人材バンク活動（職業講話講師：6名を選出し、5名の講話を実施）
- * いずみ会80周年行事の企画検討（名簿発行の中止、式典は令和7年10月に実施）

山本会計部長より令和4年度収支決算報告がスライドを使って説明された。

当期収入総額は343.4万円で予算額よりも62.1万円少なく、前年度実績より15.6万円減額となった。収入面の特記事項として雑収入に14.1万円計上された内容が説明された。特に前受会費の実績が予算に対して半減していることが大きな課題である。当期支出総額は417.0万円で着地。支出面の特記事項として会員システム関連費が14.5万円予算オーバーになっているが、次年度分を当期に支払ったもので、次年度予算では減額となっている。本年度も新型コロナの影響での母校支援費の支出は予算に対して執行残があり、予算額よりも126.7万円少なく終了した。収支実績は73.5万円赤字となった。貸借対照表では資産が緩やかに減少しており、通常の活動に戻ってきて支出が増えてきている事が伺われる。

続いて、議長から布施百合子監査役、水野國雄監査役、妹尾和夫監査役の3名の紹介があり、監査役を代表して水野國雄監査役から令和4年度監査報告がなされた。

「監査報告書」に記載の通り、会計は正確に処理されており事業報告についても適正であると認める。理事の職務執行においても問題となる点は無かったとの事の報告を受けた。

監査報告の後、第1号議案に関して以下の質疑応答が行われた。

[質問] 前受会費の収入が大幅に減少しているとの報告があったが、この原因解析は行われているのか？

[回答] 一つの原因として、会報に同封されている「ゆうちょの払込取扱票」に個別の会費納入状況が印字出来なくなった事により、振込者の認識が薄らいだ可能性がある。

また、期別の会費納入状況と合わせて、払込の終了した20期以前会員についても寄付金納入状況を解析して、これから原因を探る予定である。

その後、議長が裁決を求めて、第1号議案は賛成多数で承認された。

【第2号議案__令和5年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件】

山川事務局長より令和5年度事業計画（案）がスライドを使って説明された。

事業計画立案にあたっての状況説明があり、その後各事業計画について項目ごとに説明された。

- * 令和5年度評議員会（令和5年5月27日開催）
- * 理事会、監査会等の活動
- * 活性化に向けての取り組み（「40歳の集い」の企画化と開催支援等）
- * 会報発行、広報活動（会報67号発行予定）
- * 総会及びホームカミングデー（令和5年10月28日開催予定）
- * 財政管理（会費納入実績に応じた会報の限定発送の継続）
- * 会員情報の整備（高校76期の名簿作成、配布）
- * 母校及びPTAとの連携
- * 人材バンク（会員相互の活性化につなげる人材情報の収集）
- * 役員改選の準備
- * いずみ会創立80周年行事における企画内容を検討する

その一環としてホームページのリニューアル検討会を立ち上げる。

山本会計部長より令和5年度予算（案）がスライドを使って説明された。

令和4年度予算及び実績を参考に令和5年度の予算案を策定した。収入の部においては、入会金予算は現高校3年生の人数で算出し、総会は通常開催予定で計上、総額353.2万円とし、前年度予算より52.2万円減額とした。支出の部においては、広報費の中に人事バンク部活動費を新設し、会報発送関連費を前年度予算に対し、会報発行数を概算して11.1万円さらに減額した。会計システム関連費は前年に支払い済みなので15万円減額し、振込手数料は前年実績を参考に予算額を減らした。母校連絡費は、アフターコロナによる世の中の動きが正常化するのに伴い、令和4年度の実績は無かったが例年並みの予算を計上した。母校支援費は80周年事業支援の科目を無くした関係で、予算計上は解消した。その結果、当期支出総額は427.5万円となり前年予算に対しては116万円の減

額で、当期収支は 74.3 万円の赤字予算となった。

山川事務局長、山本会計部長説明の後、第 2 号議案に関して以下の質疑応答が行われた。

[質問] ホームページのスマホ対応のリニューアルが事業計画に上がっているが、その予算対応がないのだがどのように対応するのか？

[回答] ホームページのリニューアルは 2 年がかりの計画なので、本年度は実行予算がどのくらい発生するかを検討して、来年度に予算化する予定である。

その後、議長が裁決を求めて、第 2 号議案は賛成多数で承認された。

【第 3 号議案__いずみ会規約改正の件】

山川事務局長より「いずみ会規約」に関する改正案がスライドを使って説明された。

改正については下線部の文書の追加である。

第 15 条 やむを得ない理由のため評議員会に出席できない評議員は、他の評議員を代理人として表決を委任することができる。尚、評議員会が対面形式で開催できない場合のみ、書面により表決する。

2 前項の場合における前 2 条の規適用については、その評議員は出席したものとみなす。

山川事務局長説明の後、第 3 号議案に関して以下の質疑応答が行われた。

[書面で戴いた反対意見] 当日出席できない評議員の意思を無視して良いのか？反対意見の場合は、出席する選択肢しかないのは疑問である。

[回答] 今回紹介したように反対意見を紹介したうえで表決を求めているので、無視している訳ではない。

[質問] 議決権を行使したくても出席できない方がいる中で、今回の訂正文書の表現内容は厳しいのではないのか？委任する側の意見と委任される側の意見は必ずしも一致しているわけでは無いので、このような表現だと一方的に捉えられてしまっている。

[質問] 反対意見が書面で出た場合、その意見を取り扱った上で審議するのであればその審議過程も記載して改正表現にするべきではないか。

[回答] 審議過程を文書に表現するべきか、運用で対応するのか理事会で検討するので、今回提示した改正案は一度審議を保留したい。

今回出席した評議員の意見を踏まえ、3 号議案は理事から審議保留の動議が出され保留とした。

【報告事項】

○評議員開催案内の返信状況について

今回開催案内を出した評議員 383 名に対して返信状況について山川事務局長から報告があった。評議員の年代別分布では高校 35 期～54 期が最も少なく、返信のない評議員は全

体で50%であった。課題としては評議員の少ない期の掘り起こしと、返信が無い評議員の見直しである。そのため以下の4項目の対策を実施するとの報告があった。

- 19期以前の評議員全員に対して評議員継続の意思確認を実施する。
- 3人以下の評議員の期に対して評議員選出をお願いする。
- 若い期を中心にアドレス登録を推進し、開催時の返信をお願いする。
- 評議員会の開催曜日について見直しする必要があるか検討する。

○「1の会」からの報告

21期の安岡氏から令和5年10月28日開催の総会後の懇親会は「1の会」が担当し、学校食堂で開催する予定で、多くの方の参加をお願いするとの報告があった。

以上を持って、審議・報告事項を終了し、議長を解任。國谷氏は降壇した。

【閉会の辞】

(参加者全員でテープ音源に合わせて校友の歌を唱和)

小倉扶美子理事より令和5年度定時評議員会の閉会が宣言された。

以上

議事録署名 議長 國谷 俊之
令和 5年 7月 11日

評議員 戸田 敏治
令和 5年 7月 14日

評議員 太田 榮
令和 5年 7月 20日